

ほっとらいん
ふるむ
ほんごう

日本訪問看護財団認定看護師教育課程 訪問看護学科第8期生修了式開催

さる3月21日(木)、日本訪問看護財団の認定看護師教育課程訪問看護学科修了式が、日本看護協会ビル(東京都渋谷区)にて開催された。第8期となる今回は、11名が課程を修了した。

日本訪問看護振興財団認定看護師教育課程は「地域で暮らす人々が疾病や障がいがあってもQOLを満たした生活が主体的に継続できることをめざし、地域で

支える看護実践の専門家・指導者を育成して、訪問看護等在宅ケアの質向上及び推進を図る」という教育理念のもと、2005年10月に開講された。今期の修了生は、北は北海道から南は愛媛まで全国から集い、職場や家庭を離れ6か月間、研さんを積んできた。

修了式では、清水嘉与子理事長をはじめ、これまで修了生に関わってきた講師陣から、労いの言葉がかけられた。また、招待出席者からも祝辞が述べられ、修了生の前途が祝福された。

式の後半では、修了生1人ひとりが、6か月間の思いを述べた。涙を浮かべながら半年間を振り返り、「8期生でよかった」「地域に戻ってからも頑張りたい」と語る姿は頼もしい。

2013年5月現在、全国には331名の訪問看護認定看護師がいる。今回課程を修了した11名も、認定審査ののち、晴れて一員となる。

自分に関わるすべての人の、支えを感じた6か月。これからはそれぞれが自分の地域に戻り、1人ひとりが各地域の訪問看護を牽引する存在となっていくことだろう。本誌は今後も、継続的にその動向を追う。



第8期生修了式の集合写真